

中小企業景況調査(2023年6月)要約版

[概況] 中小企業の売上げDIは低下
売上げ見通しDIも低下

1 売上げ

2023年6月の売上げDIは、5月から2.3ポイント低下し、0.4となった。

今後3カ月(6月～8月)の売上げ見通しDIは、5月から5.5ポイント低下し、4.7となった。

2 利益

利益額DIは、5月から0.5ポイント低下し、1.6となった。

3 価格、雇用、生産設備

販売価格DIは、5月から4.1ポイント低下し、12.7となった。

仕入価格DIは、5月から1.9ポイント低下し、30.3となった。

従業員判断DIは、5月から1.2ポイント低下し、11.0となった。

生産設備判断DIは、5月からマイナス幅が0.3ポイント拡大し、▲5.5となった。

※調査の全文につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

<調査の要領>

調査時点 2023年6月中旬

調査対象 三大都市圏の当公庫取引先900社(首都圏451社、中京圏143社、近畿圏306社)

業種構成: 製造業607社、建設業82社、運輸業54社、卸売業157社

有効回答企業数 593社

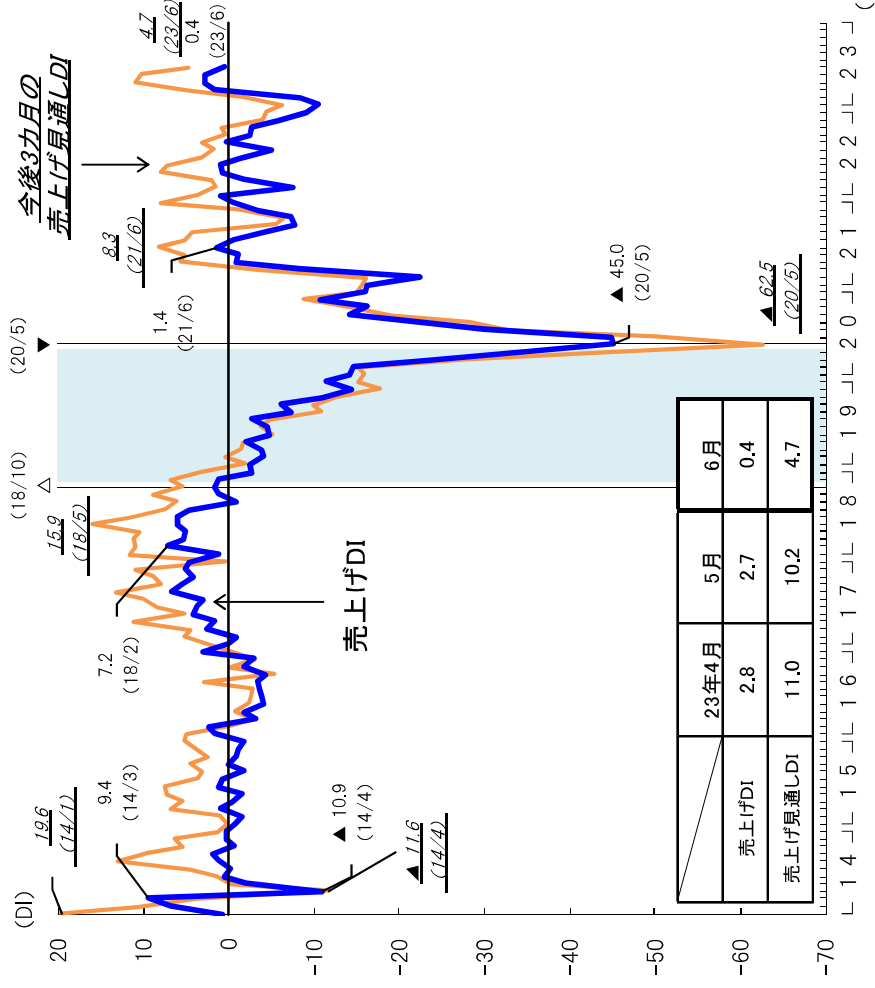
回答率 65.9%

<お問い合わせ先>

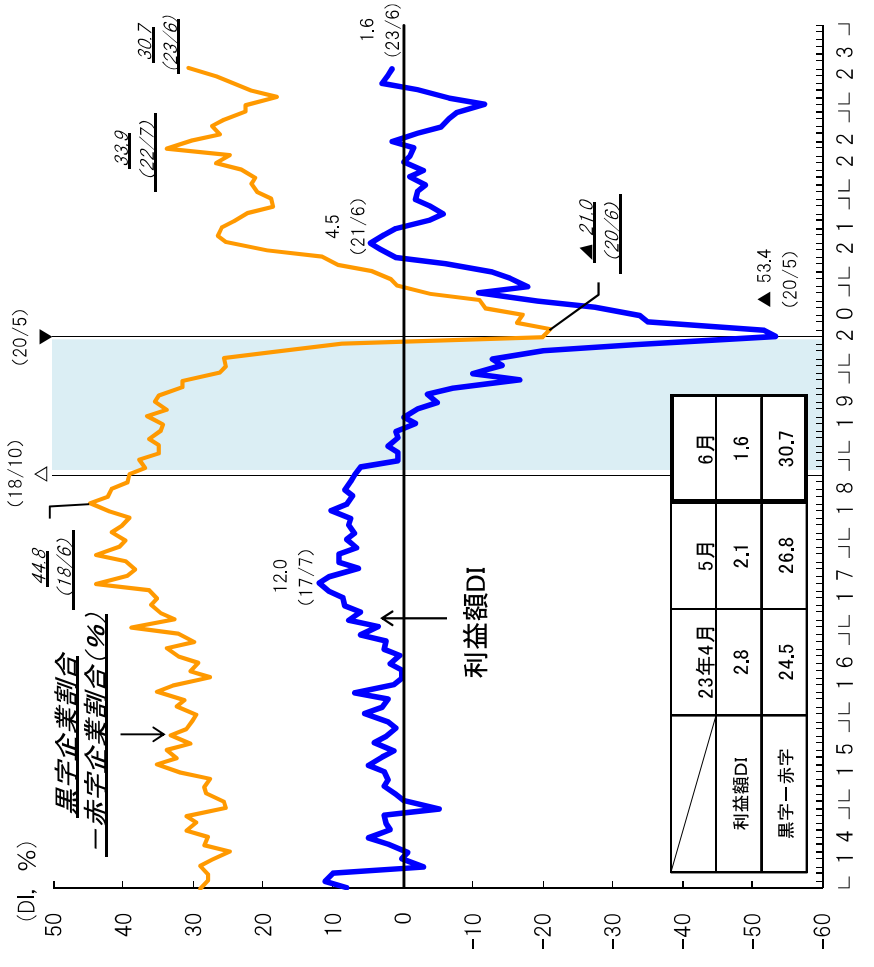
日本政策金融公庫 総合研究所 中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1704 (担当:白石、立澤)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティノースタワー

- 売上げDI(「増加」→「減少」)は、5月から2.3ポイント低下し、0.4となった。
- 売上げ見通しDI(「増加」→「減少」)は、5月から5.5ポイント低下し、4.7となった。
- 利益額DI(「増加」→「減少」)は、5月から0.5ポイント低下し、1.6となった。
- 黒字企業割合－赤字企業割合は、5月から3.9ポイント上昇し、30.7となった。

図一 1 売上げ及び売上げ見通しの動向



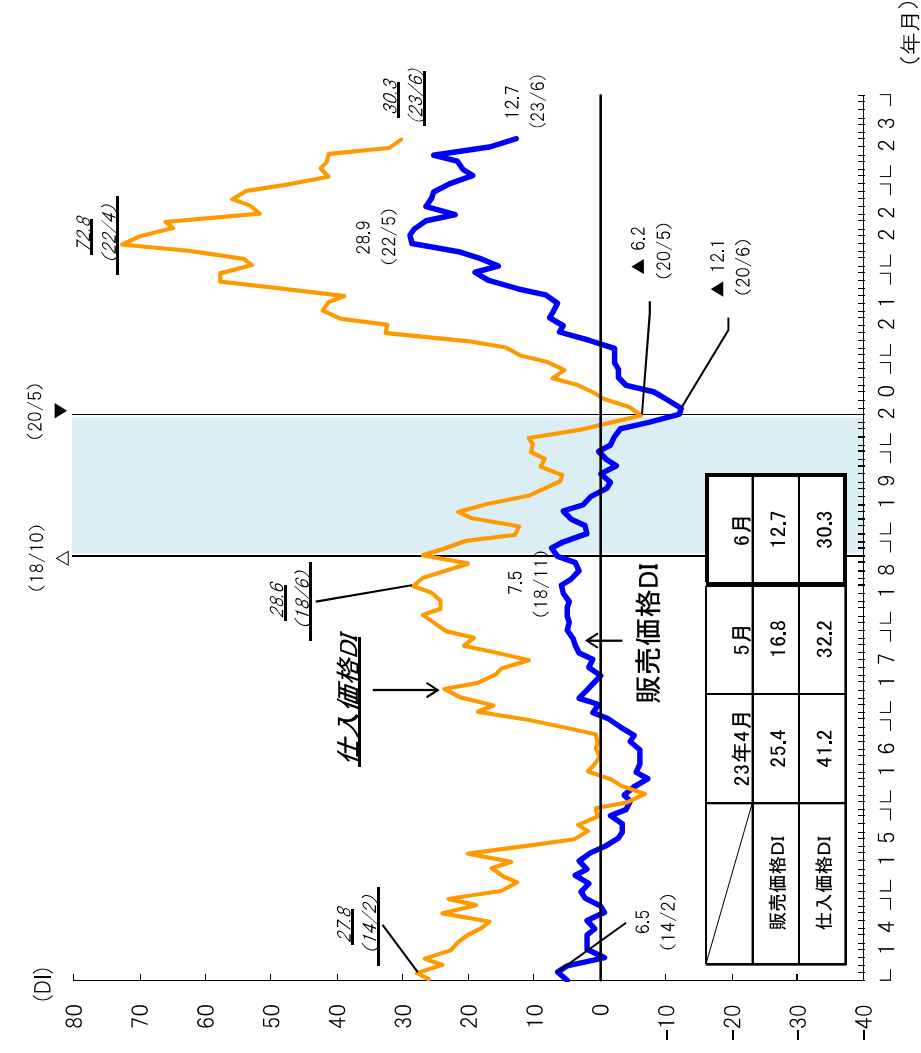
図一 2 利益の動向



(注) 1 売上げDIは前月比で「増加」→「減少」企業割合 (季節調整値)。
 2 今後3カ月の売上げ見通しDIは過去3カ月の実績比で「増加」→「減少」企業割合 (季節調整値)。
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャド一部分は景気後退期を示す (以下同じ)。

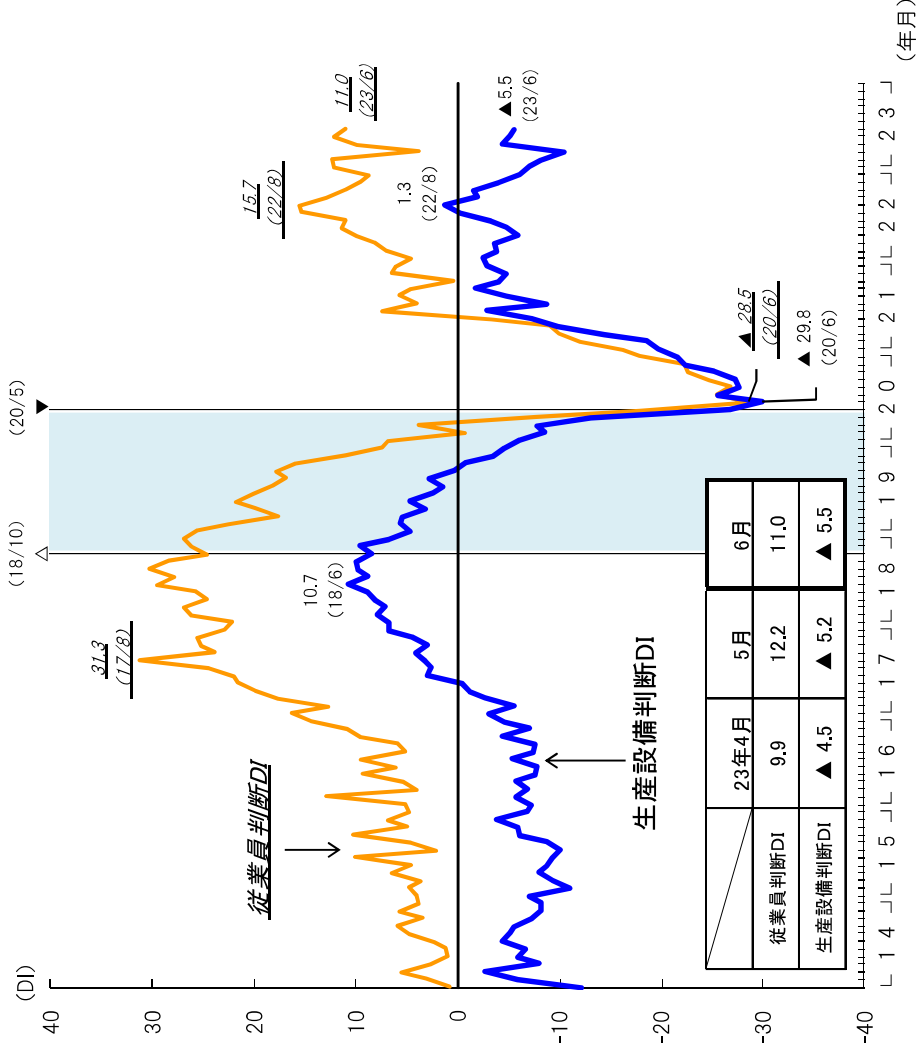
- 販売価格DI(「上昇」→「低下」)は、5月から4.1ポイント低下し、12.7となった。
- 仕入価格DI(「上昇」→「低下」)は、5月から1.9ポイント低下し、30.3となった。
- 従業員判断DI(「不足」→「過剰」)は、5月から1.2ポイント低下し、11.0となった。
- 生産設備判断DI(「不足」→「過剰」)は、5月からマイナス幅が0.3ポイント拡大し、▲5.5となった。

図一3 販売価格、仕入価格の推移



- (注) 1 販売価格DIは前月比で「上昇」→「低下」企業割合。
 2 仕入価格DIは前月比で「上昇」→「低下」企業割合。

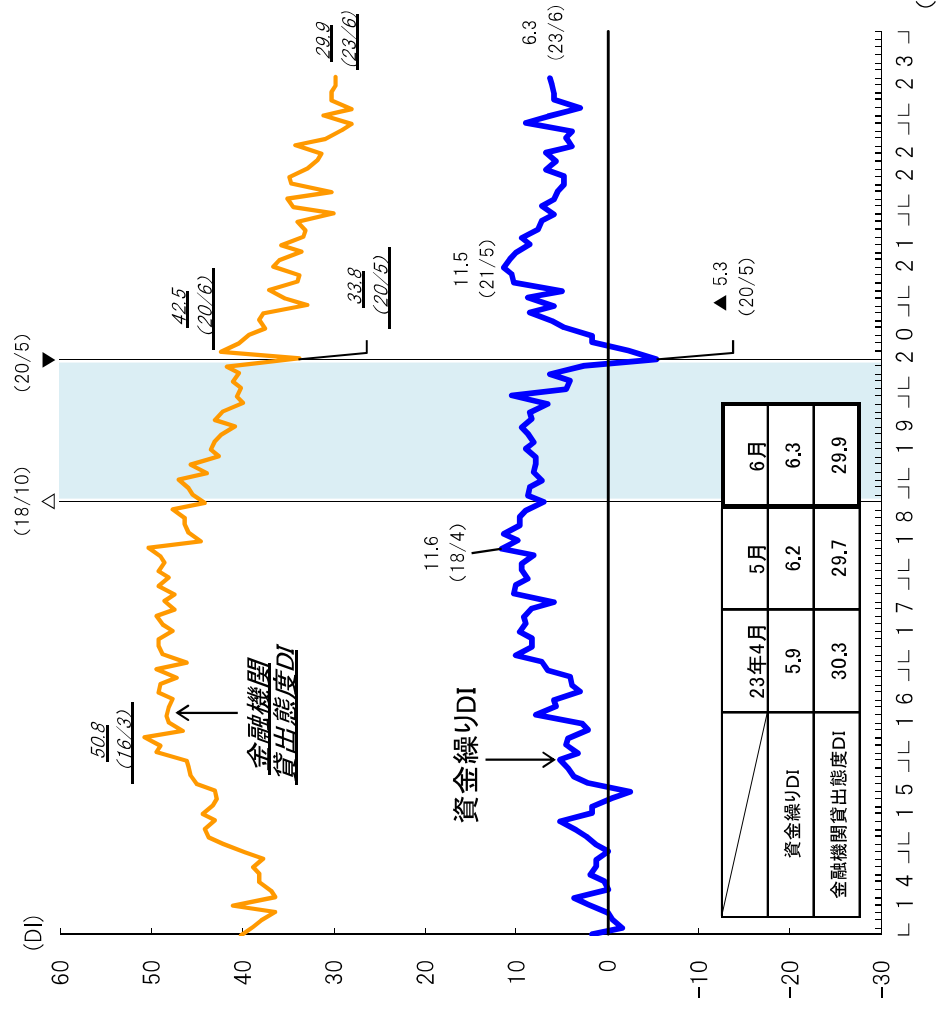
図一4 従業員状況、生産設備の判断



- (注) 1 製造業の数値。
 2 従業員判断DIは「不足」→「過剰」企業割合(季節調整値)。
 3 生産設備判断DIは「不足」→「過剰」企業割合(季節調整値)。

- 資金繰りDI(「余裕」-「窮屈」)は、5月から0.1ポイント上昇し、6.3となった。
- 金融機関貸出態度DI(「緩和」-「厳しい」)は、5月から0.2ポイント上昇し、29.9となった。

図一5 資金繰り状況と金融機関貸出態度



(注) 1 資金繰りDIは「余裕」-「窮屈」企業割合(季節調整値)。
 2 金融機関貸出態度DIは「緩和」-「厳しい」企業割合。